

やすうら 安浦



若くはつらつ 笑顔で!! ひまわり会

大きな拍手、「また来てね!」と声をかける子供達、安浦町内の老人ホームやサロンを中心に慰問活動を行い、現在では呉市内や東広島からもオファーがくるそうです。

「ひとりでも多くの人達に喜びや笑いを伝えたい」との思いから平成9年に「ひまわり会」を発足、メンバーの中には清水アヤコさん88歳の方もおられ、「若い人と活動するのが若返りの秘訣です」と胸をはる。

今では、紙芝居・人形劇・皿回し・銭太鼓・手品とレパートリーも増え、「ひまわり」のように皆さん明るく、太陽のように見えました。

●ひまわり会 代表 厚井 銘子 84-4645



心温まる

公民館日本語教室

もし自分が、言葉の通じない外国で生活するとなった時、不安で何処かへ助けを求めるたくなるのではないか。

「日本語教室」は海外から来た方に、言葉や習慣・文化などを通し、暮らしのサポートを行うため、町内のボランティアスタッフ6名とブラジル・フィリピン・韓国などの参加者で毎週1回教室を開いています。

海外からの参加者は「勉強だけでなく、子育てや生活の相談もできるのがうれしい!」また、スタッフも「外国のことを知る良い機会」とお互いに楽しみにしています。

今年も夏休みに、各国の国際色豊かな料理に挑戦する交流会を開きますので、興味のある方はご連絡ください。

また、教室ではスタッフ募集中で、外国の言葉がしゃべれなくても大丈夫です。
あなたも国際交流の仲間入りをしませんか。

●教室開催日 :

毎週(木) 午前10時 ~12時
(土) 午後5時30分~7時30分

●お問い合わせ :

安浦公民館 84-3636
川崎百合枝(代表者)

●会 場 : 安浦公民館2階中ホール



タウン
レポーター
募集!

まちづくり広報誌(TANTO)

まちづくり協議会では、安浦のための情報誌を昨年から全戸に配布しています。今年も、年4回程度の発行を目指しているところですが、地域に眠っている情報の掘り起こしとタウンレポーターの募集を随時行っています。

詳しい事は安浦町まちづくり協議会へお問い合わせください。

事務局: 安浦市民センター 84-2261 担当: 宮田

まちづくり情報誌

TANTO

安浦町まちづくり協議会

No.3

発行 平成22年5月10日

瀬戸内三大管弦祭「柏島大祭」を見に行こう!

瀬戸内三大管弦祭のひとつに数えられる柏島神社大祭の管弦祭は、海上の安全や豊魚を祈願する行事。普段は無人島の柏島に参拝客や漁業関係者が訪れる勇壮な海上絵巻が見どころ。

午後には、ご神体を載せたみこしが御座船の中央に据えられ神社前を出発、大漁旗をなびかせながら島の周囲をねりまわす様は一見の価値あり。

須賀親宏宮司代務者は、「高齢化で担い手は減ったが地域の伝統を守り続けたい」と力を込めていた。



昔は柏島神社にあふれんばかりの船と人出でにぎわっていました。



●開催日 : 6月12日(土)・13日(日) 午前10時~ ●主 催 : 柏島神社 84-3059

●場 所 : 柏 島(三津口埠頭から定期船が出ます)

●後 援 : 安浦漁業協同組合

南 薫造 画伯 没後60年記念講演会

郷土安浦が生んだ偉大な芸術家「南薰造」画伯について知ろう・学ぼう。
子どもから大人までわかりやすい講演です。

皆様のご来場おまちしています。

●日 時 : 平成22年8月1日(日) 午後1時30分 開演

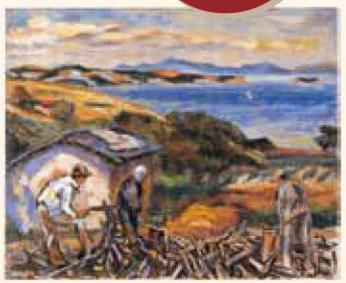
●場 所 : 呉市安浦公民館(きらめきホール)

●講演内容 : ① ~日本の印象派 南薰造の作品について~

広島県立美術館 学芸員 藤崎 綾

② ~南薰造画家と人生

呉市立美術館 館長 寺本 泰輔



●主 催 : 南薰造画伯没後60年記念事業実行委員会

入場
無料

原畠ホタル会

私達の会は、十数年前より原畠橋の上でホタルを見ながら地域の活性化や将来を語りながらスタートしました。

近年参加者も増え、昨年は100人近い人たちで楽しみました。

今年は広島カープOBの山本一義氏の講演と広島から10名ほどの女性演奏者を招き、コンサートを開催します。

参加希望の方は事前にお申し込みください。【先着200名まで】

●開催日：6月12日(土) 午後6時～9時30頃まで
(雨天の場合は中止)

●場 所：野呂川工業向かいの芝生広場

●会 費：男性：3,000円・女性：2,000円・子供：1,000円
(料理は地元米と野菜を中心に女性会が作ります)

●申込み先：FAXで 久保田：84-3721

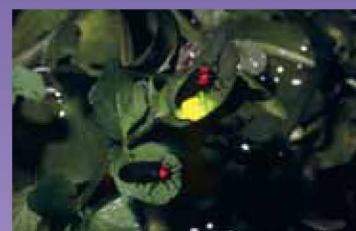


安浦「ほたる」マップ

※安浦のホタルは主にヘイケホタル・
ゲンジホタルです。

町内清流の源氏ボタル

野呂川流域や、その他の河川で、初夏の夜に飛び交う小さな光は人々の心を癒してくれます。



- よく出る
- まあまあ出る
- やや出る
- 少ないが出る

※ホタルの発生は、天候等
によって変動します。



第2回 安登“楽”会イベントの開催

地域の世代間交流を目的に、昨年から始まった「@安登“楽”会」主催によるイベントが安登運動公園で開催されます。

会場には、ヨーヨー釣り・竹馬・ポッコリなど昔懐かしい遊びや、テントでの野菜市、呉市消防局東消防署の指導のもと、安登地区自治会連合会の防火訓練が行われます。

また、安登地区歴史探訪ウォーキングを開催します。

募集定員：30名、目的地：善兵衛山（ぜんべえやま）

受付時間：10時30分～

●開催日：6月13日(日) 9時～
●場 所：安浦町安登運動公園
●主 催：@安登“楽”会
●協 賛：安登地区自治会連合会
●連絡先：岡崎洋子 84-7956



安浦には菖蒲(ショウブ)がいっぱい！



実はこの菖蒲、藤木周辺で見かけたものなんです。安浦の中でも山間部にあたるこの地域では、この時期、棚田に水を張るために、そのわき水によって咲き乱れるそうです。だから、近くにはため池があつたり、田んぼがあつたりしてます。当然、土壤も良い土じゃないと花は咲かないんだとか…それにしても、あまりにもキレイだったので、思わず、摘んで帰ろうかなとも思いましたが、やっぱり止めました。それと、安浦では棚田もきれいなことを再発見しました。この時期特有の田んぼ全体が緑に変わる風景には、季節を感じますよね！

稚児明神祭



4月18日(日)に水尻地区恒例の「稚児明神祭」が行われました。

昔、海上に突き出た大岩石の上に山姥(やまんば)がこもり、「幼子を育てるのに乳を給え」と日夜祈願したが所似だとか。

その後「お母さんの乳」の守り神として讃えられ、子を持つ女性の参詣が多くなり、「稚児の明神さん」と有名になりました。

当時は、神主さんが祝詞をあげ、参列者は船上から祈願するという独特なスタイルで行われました。水尻老人集会所では、「餅まき」が行われ、地域の方々で賑わっていました。

古(いにしえ)の時代から現在に伝わる祭事には伝統があるんですね。



安浦かき祭りを振り返って……

2月28日(日)安浦の冬の味覚を堪能するイベント「第3回安浦かき祭り」が実成新開グランドで開催されました。

今年で3回目になり、1回目は大雪、2回目は大雨でしたが、今年は大晴れとなり、呉市内はもとより、遠くは大阪ナンバーの車も来場していたことが印象的でした。

会場内では、お客様自らが「焼きかき」を楽しめる炉端焼きコーナーを増設、ネギ焼き、かきフライ、かき飯など振る舞われました。

当日は、50名を超えるボランティアスタッフが大活躍され、約8,400人の来場者と一緒に盛り上げていただきました。

主催である安浦漁協若部海では、今後も地域の皆さんとともに作り上げるイベントで安浦のPRをしていきたいと額の汗を拭っていました。

